

糖尿病・内分泌内科

概 要

部 長：松 岡 直 樹
ス タ ッ フ：部長+3名
専 攻 医：1~2名

年間入院患者数：約 400 名
一日外来患者数：約 100 名

【参加予定の学会および研究会】

内分泌学会、糖尿病学会、内科学会、甲状腺学会、内分泌研究会、甲状腺研究会、糖尿病臨床フォーラムなど

【認定教育施設】

日本糖尿病学会認定教育施設
日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
日本甲状腺学会認定専門医施設

特 徴

1. 糖尿病教育入院はクリニカルパスで行っている。カンファレンスにはコメディカルも参加してチーム医療に徹している。
2. 昏睡（高血糖・低血糖）等の救急患者が多い。
3. 当科入院患者以外にも他科入院患者・Kobe Eye Center 入院患者に対応する。
4. 内分泌疾患がバラエティーに富んでおり、専門医修得に向け十分な経験ができる。
5. 甲状腺癌 ^{131}I 治療は年間約 100 例行い、他施設からの依頼も多数受け入れている。

一 般 目 標

全ての糖尿病内分泌疾患の診断および治療（生活指導を含む）ができるようになるための診療能力を身につける。数多い外来患者や救急患者にも対応できるようになる。研究成果を学会および論文で発表する。

行動目標

- 1年目：** 糖尿病・内分泌疾患に関する知識および検査技術を習得する。
入院患者の診察を確実に行うことができる。
救急患者の対応ができる。
他の内科をローテートし、内科専門医取得に必要な症例を経験する。
- 2年目：** 連携病院での研修をする。
後輩医師の指導ができる。
研究テーマを決定する。
- 3年目：** 専門外来患者の診察をスムーズに行うことができる。
臨床経験を深め、研修を完成させる。（3年コースの場合）
研究成果の発表を行う。
- 4年目：** 研修を完成させる。（4年コースの場合）
連携病院での研修を経験する（4年コースの場合）

各年度での研修内容は状況に応じて個別に相談の上決定します。

連携病院では一般内科研修をする場合と糖尿病・内分泌領域の研修をする場合があります。
専門医制度が変更となる場合は、途中で研修予定内容が変更となる場合があります

達成目標

1. 必須疾患に関して3年間もしくは4年間でほぼ全ての疾患の主治医になる。
2. 学会・研究会発表は毎年2回以上行う。論文発表は3年間もしくは4年のあいだに1編以上執筆する。
3. 2年目もしくは3年目より外来は週1回行う。外来患者数1日30名以上は診察する。
4. 主治医として患者を担当し初期研修医の指導を行う。
5. 糖尿病内分泌領域の各種救急患者は1人で対応できるようになる。
6. その他
糖尿病教室の講師を務める。
クリニカルパスの作成・修正・バリエーション評価に積極的に参加する。

週間スケジュール

月曜日	内科カンファレンス（月1回を予定）
火曜日	甲状腺穿刺細胞診、内分泌カンファレンス、回診
水曜日	糖尿病カンファレンス、回診
木曜日	甲状腺エコー、抄読会、学会・研究会発表予演会
その他	糖尿病教室（月1回）、甲状腺カンファレンス（月1回） 甲状腺エコーカンファレンス（3ヶ月に1回程度）

専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院内科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL : http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

松岡 直樹 : nmatsuoka@kcho.jp